

令和5年度中学生チャレンジテスト(1年生)・大阪市版チャレンジテストplusの結果概要

大阪市教育委員会

- 調査実施日
・令和6年1月10日(水)
- 学力に関する調査
・中学校1年:国語、数学、英語、社会、理科
- 実施校数
・中学校1年:129(468)校
- 調査対象
・中学校1年
- 学習状況に関する調査
・生徒アンケート
- 実施生徒数
・中学校1年:15,029(58,517)人

【中学生チャレンジテスト】

- ・平均点、無解答率で表記しています。
()内の数字は大阪府の結果です。
- ・ヒストグラムは5点ごとに区切った得点ごとの生徒の割合を示しています。

【大阪市版チャレンジテストplus】

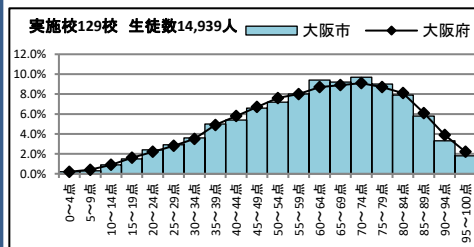
- ・中学校1年社会・理科にて実施しています。
- ・平均正答率、無解答率で表記しています。
- ・ヒストグラムは10%ごとに区切った平均正答率ごとの生徒の割合を示しています。大阪市のみの調査のため、府のデータは入っていません。

・集計値/グラフは、1月10日に調査実施した生徒を対象として集計した値である。

中学校1年【国語】

平均点
60.6(60.8)点

無解答率
8.7(9.6)



良好

- 文と文の意味のつながりを考えながら接続語を使って文を書くこと
- 敬語の働きを理解して案内文を書くこと

課題

- 聞き手を意識し、自分の考えが明確に伝わるように表現を工夫すること
- 読み手の立場に立って、文章を整えること

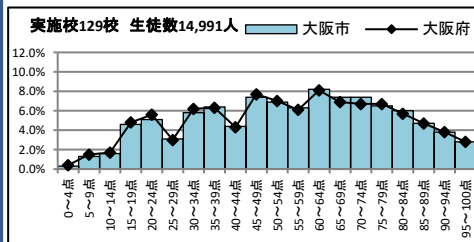
【これからの学習に向けたアドバイス】

- ★スピーチをするときは、根拠が明確になるように、話の構成を考えましょう。その際、グラフから読み取った数値などを根拠に用いて話すことができるよう、工夫しましょう。
- ★文章を書くときは、読み手の立場に立って、語句や表現の仕方が適切かを確認しながら文章を整えるようにしましょう。また、自分以外の人からもらったアドバイスを生かして書くようにしましょう。

中学校1年【数学】

平均点
55.4(54.7)点

無解答率
9.1(10.3)



良好

- 文字式の表現を理解すること
- グラフ上にある点の意味を理解すること

課題

- 具体的な事象に対応させてグラフや式から情報を読み取り、解釈すること
- 具体的な事象において、数量の関係を捉え、文字式で表すことや文字式の意味を説明すること

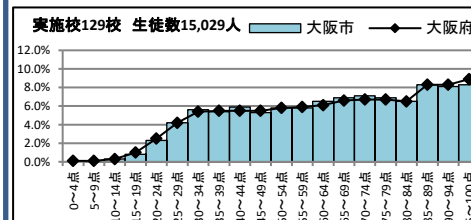
【これからの学習に向けたアドバイス】

- ★問題文と図、表、式、グラフを関連付けて読み取りましょう。またグラフや式は表には現れていない値の組を求めることができるという良さがあります。それぞれの表の良さを考えましょう。
- ★具体的な事象を文字式で表すときは、図、表、式から規則性を見つけましょう。そして、変化しない数量と変化する数量の意味を考え、文字式に表しましょう。

中学校1年【英語】

平均点
64.1(64.1)点

無解答率
4.3(4.9)



良好

- 短い英文を聞いて情報を正確に聞き取ること
- 日常的な話題についてのまとまったやり取りを聞き、話の内容の概要や要点を適切に把握すること

課題

- 意味のまとまりを意識しながら、指示語が指す内容を正確に捉えること
- 表をもとに、日常的な話題についてのまとまった会話文を読み、話の内容の概要や要点を適切に把握すること

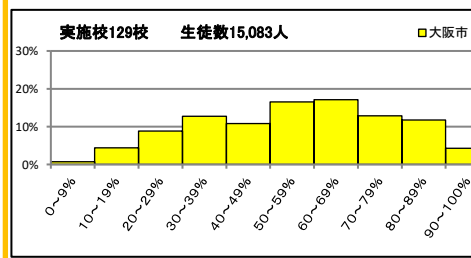
【これからの学習に向けたアドバイス】

- ★理解した文法事項を活用し、意味のまとまりを意識しながら、指示語が示す部分を捉えましょう。
- ★表と英文を見比べ、対応している箇所に線を引くなどして、情報を整理しながら読みましょう。

大阪市版チャレンジテストplus 中学校1年【社会】

平均正答率
56.0点

無解答率
5.2



良好

- 日本の領土について理解すること(地理)
- 貝塚について理解すること(歴史)

課題

- 世界各地の人々の環境に関する資料をもとに、自然環境の特色を考察すること(地理)
- 弥生時代の遺跡に関する資料をもとに、当時の人々のくらしについて読み取り、表現すること(歴史)

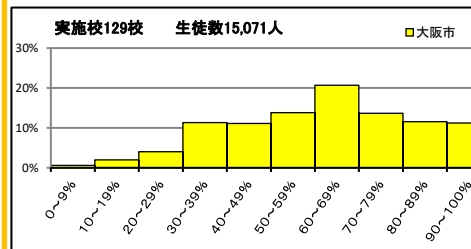
【これからの学習に向けたアドバイス】

- ★複数の資料から読み取った情報を結び付けて、気候と河川を流れる水の量との関係を捉えましょう。
- ★資料から読み取った情報をもとに学習したことと結び付けて、自分の考えを表現しましょう。

大阪市版チャレンジテストplus 中学校1年【理科】

平均正答率
62.2点

無解答率
1.9



良好

- 観察するときの正しいスケッチのしかたが身についていること
- 花火の音が届く時間から、花火の打ち上げ場所までの距離を求めること

課題

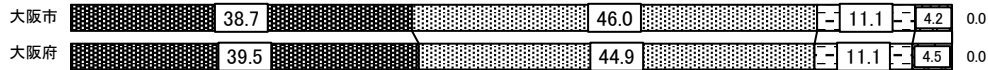
- 蒸留するとき、気体を効率的に冷やしていることを説明すること
- バイカモの特徴から科学的根拠をもって分類すること

【これからの学習に向けたアドバイス】

- ★金属には熱をよく伝える性質があることを理解しましょう。また、金属によって熱の伝わりやすさが違うことも理解しましょう。
- ★植物を分類するために、植物の体の基本的なつくりを理解し、その共通点や相違点を考えましょう。

1年生におけるアンケート結果

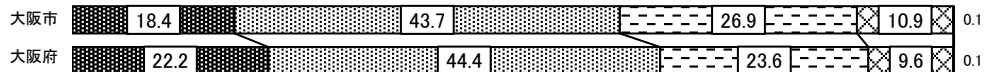
1. 文章や資料などを読むときに、どこが大事なところかを考えながら読んでいる。



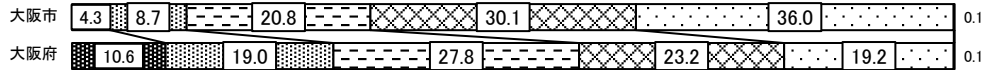
2. わからないことや知りたいことがあったとき、図書館資料やインターネットなどで調べている。



3. 授業中、思考ツールを使うなどして、自分の考えを整理したりまとめたりする場面がある。



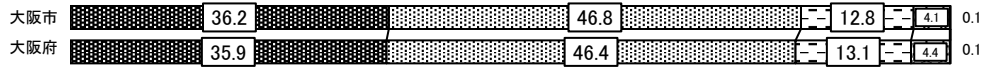
4. 授業中、PC・タブレットを使って、学級の友だちと意見を交換する場面はどれくらいありますか。



5. 家で、自分の苦手なところ、必要なところを考えて勉強している。



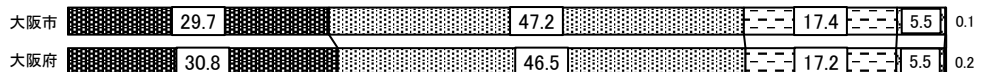
6. あなたの学級は、違った考えや意見を受け入れる雰囲気がある。



7. 学校などで、他の人と協力し合うことができる。



8. 難しいことがあっても、あきらめない。



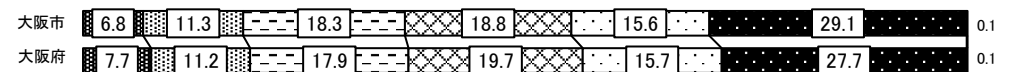
9. テレビや新聞、インターネットで社会的な出来事に関するニュースを見ている。



1～3、5～9 ■当てはまる □どちらかといえば、当てはまる □どちらかといえば、当てはまらない □当てはまらない □その他・無回答
4 ■ほぼ毎日 □週3回以上 □週1回以上 □月1回以上 □月1回より少ない □その他・無回答

■今回お知らせする調査結果は、学力や学習状況の一部分であり、子どもたちの学力や学習状況、学校の教育活動などのすべてを表すものではありません。

10. 普段(月曜日から日曜日)、1日平均どれくらいの時間、本(教科書は除く)を読みますか。



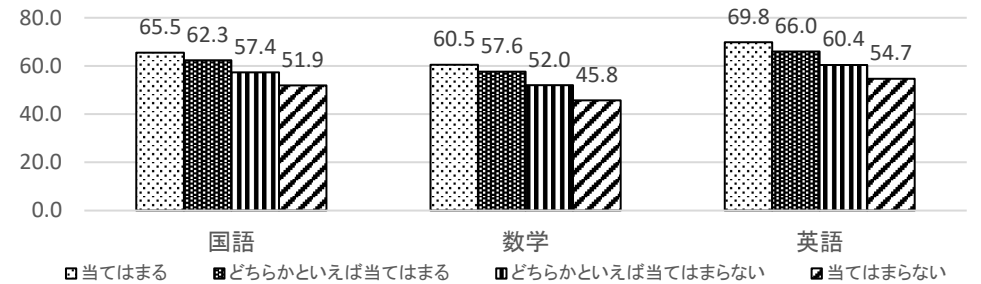
11. 普段(月曜日から日曜日)、1日平均どれくらいの時間、学習以外(ゲームやSNSなど)にスマートフォンやタブレットを使っていますか。



10 ■2時間以上 □1時間以上、2時間より少ない □30分以上、1時間より少ない □10分以上、30分より少ない □10分より少ない
□全くない □その他・無回答
11 ■4時間以上 □3時間以上、4時間より少ない □2時間以上、3時間より少ない
□1時間以上、2時間より少ない □30分以上、1時間より少ない □30分より少ない
□スマートフォンやタブレットを持っていない □その他・無回答

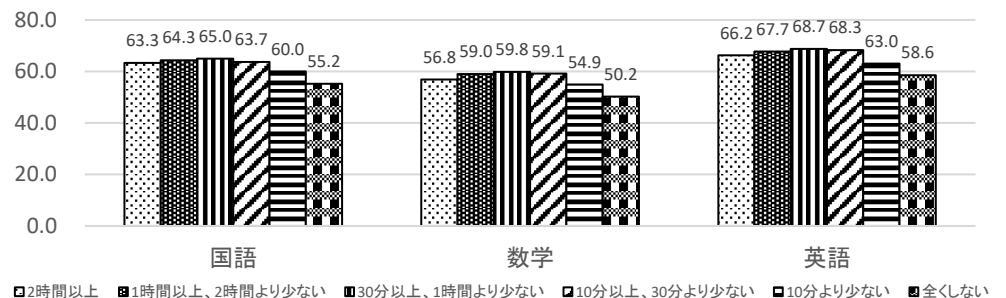
教科の平均点と生徒アンケートのクロス集計結果

わからないことや知りたいことがあったとき、図書館資料やインターネットなどで調べている



わからないことや知りたいことがあったとき、図書館資料やインターネットなどで調べている生徒の方が、教科の平均点が高い傾向がみられます。

普段(月曜日から日曜日)、1日平均どれくらいの時間、本(教科書は除く)を読みますか



読書を「全くない」と回答している生徒よりも、読書をしている生徒の方が、教科の平均点が高い傾向がみられます。

■本調査の結果とともに「ワークブック」や「力だめしプリント」などの学習に役立つ情報については、大阪府教育庁 市町村教育室 小中学校課のWebページにおいてもお知らせしていますので、ご活用ください。
○復習教材 http://www.pref.osaka.lg.jp/shochugakko/challenge/r02_3_fukushu.html

令和5年度中学生チャレンジテスト(2年生)の結果概要

大阪府教育委員会

- 調査実施日
・令和6年1月10日(水)
- 学力に関する調査
・中学校2年:国語、数学、英語、社会(A・B)、理科(A・B)
- 実施校数
・中学校2年:129(473)校
- 調査対象
・中学校2年
- 学習状況に関する調査
・生徒アンケート
- 実施生徒数
・中学校2年:14,732(57,751)人

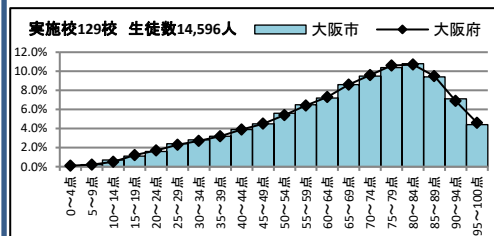
【中学生チャレンジテスト】
・平均点、無解答率で表記しています。()内の数字は大阪府の結果です。
・ヒストグラムは5点ごとに区切った得点ごとの生徒の割合を示しています。

・集計値/グラフは、1月10日に調査実施した生徒を対象として集計した値である。

中学校2年【国語】

平均点
66.7(66.8)点

無解答率
8.2(8.3)



良好

- 文脈に即して漢字を正しく読むこと
- 文章の中での言葉の働きを理解すること

課題

- 目的や意図に応じて、伝えたいことを明確にし、整理して書くこと
- 読み手の立場に立って、文を整えること

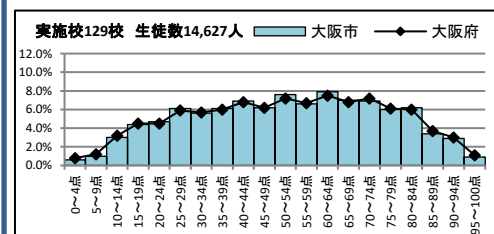
【これからの学習に向けたアドバイス】

- ★話を聞くときは、意見と根拠、具体と抽象など、情報同士の結び付きに注意しながら、要点を捉えられるよう意識しましょう。また、聞いた内容を報告する際は、必要な情報を簡潔にまとめましょう。
- ★文章を書くときは、読み手の立場に立って、自分の考えを明確に伝える表現ができているかを確認しましょう。また、お互いに読み合って適切な表現になっているかをアドバイス合しましょう。

中学校2年【数学】

平均点
52.2(52.2)点

無解答率
11.2(12.0)



良好

- 連立二元一次方程式の解の意味を理解すること
- 多角形の外角の意味を理解すること

課題

- 考察の対象を明確に捉え、連立二元一次方程式をつくること
- 表やグラフで与えられた情報を読み取り、全体を類推し事象を数学的に解釈すること

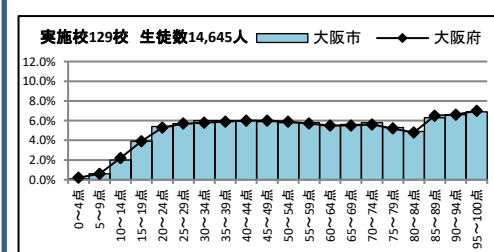
【これからの学習に向けたアドバイス】

- ★与えられた情報を表や線分図に表してから立式しましょう。そして立式するときは、定数や変数が表す数量は何かを考えるようにしましょう。
- ★問題の意味を理解するために、与えられた情報を図、表、式、グラフに整理し、関連付けて読み取りましょう。

中学校2年【英語】

平均点
57.2(57.1)点

無解答率
8.6(8.9)



良好

- 短い英文を聞いて情報を正確に聞き取ること
- 日常的な話題についてのまとまったやり取りを聞き、話の内容の概要や要点を適切に把握すること

課題

- 与えられた情報に基づいて、指示された語数で正しい英文を書くこと
- 会話の流れに合うように、指示された語数で正しい英文を書くこと

【これからの学習に向けたアドバイス】

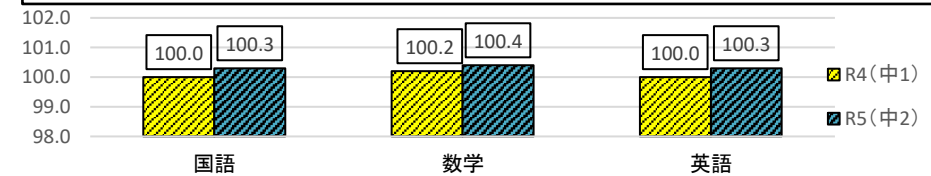
- ★英語で正しく表現するためには、言語の使用場面を意識しながら、文法事項を理解しましょう。
- ★会話の内容から場面を理解し、会話の流れに合う英文を書きましょう。

標準化得点を活用した経年分析

※標準化得点は年度間の相対的な比較ができるよう、大阪府平均を100として統計的に計算したものです。
※令和4年度と令和5年度で、個々の生徒の対応のあるデータにより分析したものです。

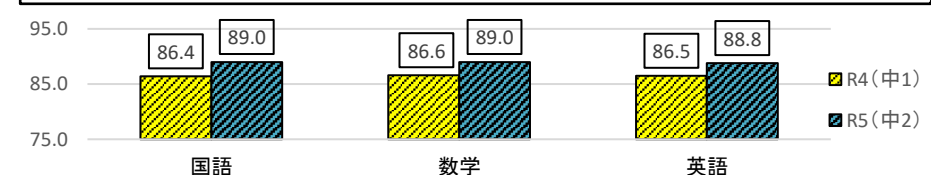
【大阪市全体の経年分析】

□「国語・数学・英語」ともに、成績が向上していることが統計的に示されています。



【学力に課題の見られる生徒(区分Ⅳ)の経年分析】

□「国語・数学・英語」ともに、成績が向上していることが統計的に示されています。

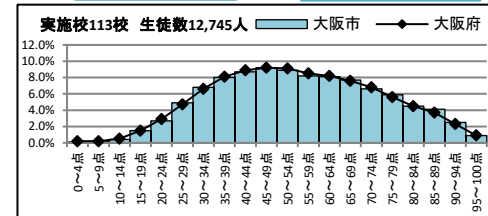


※大阪府の生徒全員の得点分布の状況から高い順に概ね25%になるように区切り、区分Ⅰ、区分Ⅱ、区分Ⅲ、区分Ⅳの4つに分け、分析しました。なお、得点と同じ場合は上位の区分に含んでいます。

中学校2年【社会A】

平均点
54.6(54.2)点

無解答率
3.2(3.5)



良好

- 過疎化について理解し、過疎化の状態を表す人口構成について考察すること(地理)
- 江戸時代の歴史人物について理解すること(歴史)

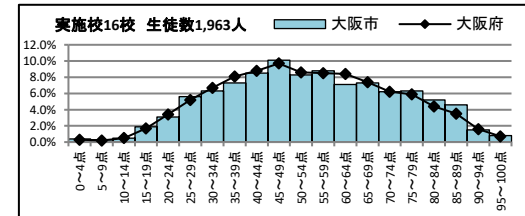
【これからの学習に向けたアドバイス】

- ★複数の資料を見比べたり結び付けたりして、課題の解決につながる情報を読み取りましょう。
- ★幕府の諸改革を社会や経済の変化への対応として捉え、改革の内容や展開を理解するようにしましょう。

中学校2年【社会B】

平均点
54.0(53.4)点

無解答率
3.7(4.0)



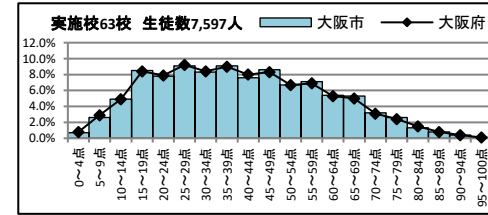
課題

- 表から情報を正確に読み取ること(地理)
- 徳川吉宗の享保の改革について理解すること(歴史)

中学校2年【理科A】

平均点
40.6(40.2)点

無解答率
10.4(11.3)



良好

- 電流計の基本的な操作技能について理解すること
- 圧力と接触面積の関係について理解すること

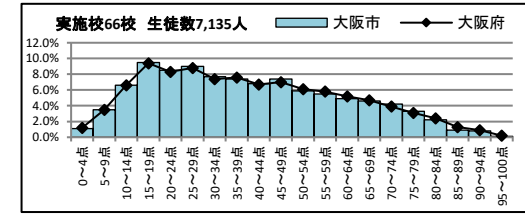
【これからの学習に向けたアドバイス】

- ★回路図から抵抗や電源装置を使って様々な回路を作成し、流れる電流や抵抗に加わる電圧を測定しましょう。
- ★反比例の関係を理解し、計算できるようにしましょう。また、答えとなる値の単位に注意しましょう。

中学校2年【理科B】

平均点
39.8(40.3)点

無解答率
11.1(11.8)

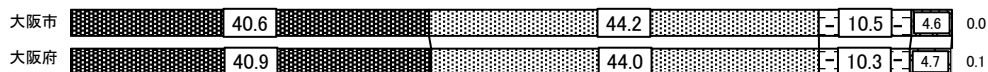


課題

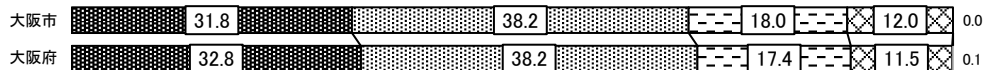
- 回路図が表す回路を表現すること
- 質量と面積から圧力を求める方法について理解すること

2年生におけるアンケート結果

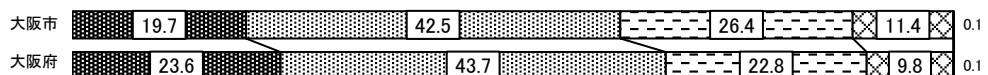
1. 文章や資料などを読むときに、どこが大事なところかを考えながら読んでいる。



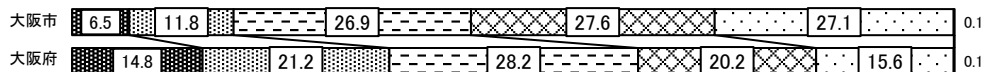
2. わからないことや知りたいことがあったとき、図書館資料やインターネットなどで調べている。



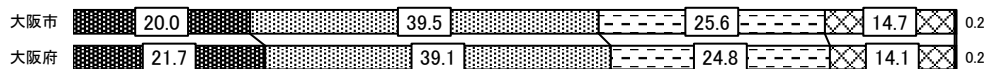
3. 授業中、思考ツールを使うなどして、自分の考えを整理したりまとめたりする場面がある。



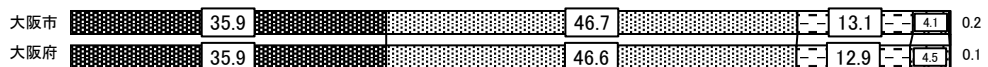
4. 授業中、PC・タブレットを使って、学級の友だちと意見を交換する場面はどれくらいありますか。



5. 家で、自分の苦手なところ、必要なところを考えて勉強している。



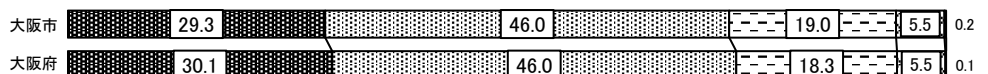
6. あなたの学級は、違った考えや意見を受け入れる雰囲気がある。



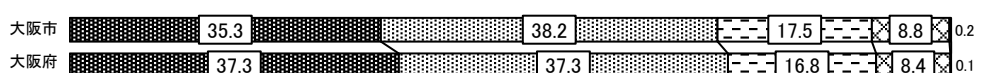
7. 学校などで、他の人と協力し合うことができる。



8. 難しいことがあっても、あきらめない。



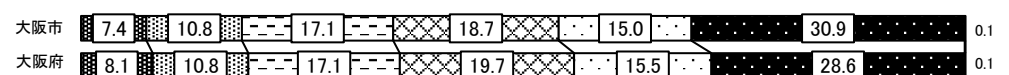
9. テレビや新聞、インターネットで社会的な出来事に関するニュースを見ている。



1～3、5～9 ■当てはまる □どちらかといえば、当てはまる □どちらかといえば、当てはまらない □当てはまらない □その他・無回答
4 ■ほぼ毎日 □週3回以上 □週1回以上 □月1回以上 □月1回より少ない □その他・無回答

■今回お知らせする調査結果は、学力や学習状況の一部であり、子どもたちの学力や学習状況、学校の教育活動などのすべてを表すものではありません。

10. 普段(月曜日から日曜日)、1日平均どれくらいの時間、本(教科書は除く)を読みますか。



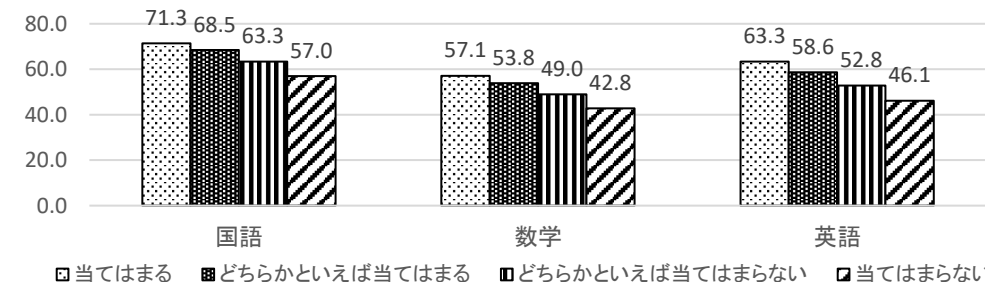
11. 普段(月曜日から日曜日)、1日平均どれくらいの時間、学習以外(ゲームやSNSなど)にスマートフォンやタブレットを使っていますか。



10 ■2時間以上 □1時間以上、2時間より少ない □30分以上、1時間より少ない □10分以上、30分より少ない □10分より少ない
11 ■4時間以上 □3時間以上、4時間より少ない □2時間以上、3時間より少ない □1時間以上、2時間より少ない □30分以上、1時間より少ない □30分より少ない □スマートフォンやタブレットを持っていない □その他・無回答

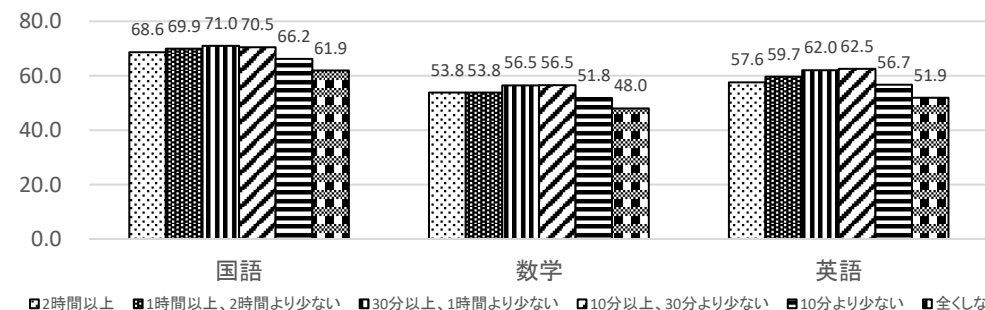
教科の平均点と生徒アンケートのクロス集計結果

わからないことや知りたいことがあったとき、図書館資料やインターネットなどで調べている。



わからないことや知りたいことがあったとき、図書館資料やインターネットなどで調べている生徒の方が、教科の平均点が高い傾向がみられます。

普段(月曜日から日曜日)、1日平均どれくらいの時間、本(教科書は除く)を読みますか



読書を「全くしない」と回答している生徒よりも、読書をしている生徒の方が、教科の平均点が高い傾向がみられます。

■本調査の結果とともに「ワークブック」や「力だめしプリント」などの学習に役立つ情報については、大阪府教育庁 市町村教育室 小中学校課のWebページにおいてもお知らせしていますので、ご活用ください。
○復習教材 http://www.pref.osaka.lg.jp/shochugakko/challenge/r02_3_fukushu.html